

長谷川鉄工

代表取締役社長

小野 良二



2020年を振り返ると、御多分に洩(も)れず、新型コロナウイルスの国内外での感染拡大による経済停滞影響を当社の事業も受けました。とはいえ、マイナス要素を補う先手策を打つことができ、

レジリエンスを発揮できた1年だったと認識しています。当社の前期(20年9月期)から今期(21年9月期)第1四半期にかけての冷凍機事業は、市場占有率が高い漁船用冷凍機の出荷台数が例年と比

べ軟調気味です。日本国内向けは取引先のご尽力に支えられ堅実な台数を確保できていますが、台湾をはじめ海外の代理店向けの売上が例年

に及びません。コ

逆境には泰然、順境には冷然の精神で

タイ、ベトナム、インドネシア、モンゴルなどの主要代理店と定期的なリモート会議を通じて情報交換を図り、エンジニア様への提案営業面で協業体制を強化しているところ

です。タイ、ベトナム、インドネシア、モンゴルなどの主要代理店と定期的なリモート会議を通じて情報交換を図り、エンジニア様への提案営業面で協業体制を強化しているところ

先にある成功を信じ、企業努力を続けます。

ナ禍で国内外とも新造船案件が延期となる事例が見られます。海外向けの冷凍機販売に

関しては現在、米国、台湾、CO₂冷却システム「NH₃」直近5年間の活動成果が着実

な

冷熱エンジニアリング事業は国内案件を中心に堅調で、省エネ型自然冷媒機器の導入を促す二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金など、国の補助事業が追い風になっています。当社ではNH₃／CO₂冷却システム「NH₃」直近5年間の活動成果が着実

織り込み、経営層に響く趣向を凝らしたプレゼンテーションを当社の社員が実践できたことが受注の決め手となった

案件もあります。社内設計・開発・営業陣が一体となって意識改革に取り組んできた

新年以降もコロナ禍と向き合う事業環境が続きます。当社は昨年創業110周年に

り、2年後に法人設立100周年を迎えます。長年の歩みが裏付ける通り、市場環境が

逆境であれ、順境であれ、一喜一憂せず「失意泰然、得意冷然」の精神を現有社員と共有し、いかなる市場環境下にも対応する心構えです。その

先にある成功を信じ、企業努力を続けます。

先にある成功を信じ、企業努力を続けます。

先にある成功を信じ、企業努力を続けます。